

観賞温室第2室 企画展示

- 4月13日(水)～5月29日(日)「シャクナゲ・ツツジ展」
- 6月1日(水)～7月3日(日)「動物のいない動物園」
- 7月6日(水)～9月4日(日)「食虫植物展」

観賞温室第3室 住宅内展示

- 4月17日(日)まで
「秋山庄太郎 チューリップ写真展」
出展:秋葉区役所(産業振興課)
- 4月19日(火)～5月8日(日)
「日本の花文化」
- 5月10日(火)～5月22日(日)
「ちあきの会10周年記念『吉田千秋と植物展』」
出展:ちあきの会
- 5月24日(火)～6月5日(日)
「押し花の仲間達」
出展:森のアトリエ
- 6月7日(火)～6月26日(日)
「花とみどりの写真展」
出展:秋葉区老人クラブ連合会写真部

観賞温室第3室 特別展示

- 5月17日(火)～5月22日(日)「クレマチス展」
出展:鈴木光一(日本クレマチス協会会員)
- 5月24日(火)～6月5日(日)「サツキ展」
出展:盛樹園

5月4日(水・祝)・5日(木・祝)
9:30～16:00

「春の植物園まつり」

- バックヤードツアー
- 植物素材を使った体験教室
- チューリップ球根掘り取り体験
- チューリップ水上花絵づくり
- 園芸相談
- 物販(植物・食品)など

※1日のみ開催のものもあります。詳細スケジュールは4月下旬に当園ホームページに掲載します。

イベント

6月5日(日)10:00～16:00
「にいつ花ふるフェスタ」

主催:にいつ花ふるフェスタ実行委員会

ステージイベント、にいつ食の陣当日座、花ふるロールケーキ作り、物販、ミニガーデンコンテスト作品展示などイベント盛りだくさん。また、フェスタ当日に限り、ワンコイン(100円)入館デーを実施!

ミニガーデンコンテスト出展作品募集!

- 応募受付期間 4月11日(月)～5月20日(金)
- 作品展示期間 5月29日(日)～6月5日(日)
- 展示場所 県立植物園エントランス広場

1m四方のスペースに小さな庭をデザインしませんか。お申込方法など詳しくは当園ホームページをご覧ください。

●観賞温室利用案内

開館/9:30～16:30(入館締切16:00)
入館料/大人600円、シルバー(65歳以上)500円
高校生・学生300円(要学生証提示)、小中学生100円
※土日祝日は小中学生の入館料無料

●観賞温室開館カレンダー(●休館日)

4	5	6
日 月 火 水 木 金 土 ・ ・ ・ ・ ・ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日 月 火 水 木 金 土 ・ ・ ・ ・ ・ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

●交通アクセス ※駐車場無料(350台収容)

高速道路/磐越自動車道新津ICから国道403号三条・加茂方面へ約15分
一般道路/(新潟方面から)国道49号茅野山ICから国道403号経由約20分
J R/信越線古津駅から徒歩約20分
バス/区バス:新津駅東口から「うららこすど」行き
「美術館・植物園前」下車徒歩約1分
新潟交通:新津駅東口から「矢代田経由白根・湯東営業所」行き
「新津美術館入口」下車徒歩約10分

花と緑の教室

会場(または集合場所):花と緑の情報センター

※要申込(開催日の1カ月前から電話受付)

- 5月22日(日)13:30～15:00 「クレマチスの育て方」
講師:鈴木光一(日本クレマチス協会会員) 定員:30名 参加費:無料
- 5月29日(日)10:00～11:30 「寄せ植えを楽しもう」
講師:永井明子(当園スタッフ) 定員:15名 参加費1,500円
- 6月9日(木)10:00～11:30 「マツの剪定」
講師:田中良明(当園スタッフ・樹木医) 定員:10名 参加費:無料
- 6月12日(日)10:00～11:30 「マツの剪定」
講師:田中良明(当園スタッフ・樹木医) 定員:10名 参加費:無料
※「マツの剪定」は2回とも同内容です。

シリーズ企画「植物園花散歩」

各回10:00～11:30 定員:10名 参加費:無料

季節の植物を観賞しながら園内をめぐるガイドツアーです。年8回開催予定。

- 第1回 4月21日(木) 講師:倉重祐二(当園副園長・趣味の園芸講師)
- 第2回 5月12日(木) 講師:田中良明(当園スタッフ・樹木医)
- 第3回 6月16日(木) 講師:倉重祐二(当園副園長・趣味の園芸講師)



「みんなの趣味の園芸」の植物園日記(ブログ)を更新中

「みんなの趣味の園芸」
<http://www.shuminoengei.jp/>で検索
「みんなの園芸日記」から
「新潟県立植物園」の植物園日記を選択。
当園公式サイトからもジャンプできます。

新潟県立植物園

植物園だより



富樫信平画

オオヤマフスマ

Moehringia lateriflora

(ナデシコ科)

北海道から九州の山地の草原や道端に生える在来の多年草。同じナデシコ科のハコベ (*Stellaria neglecta*) やオランダミミナグサ (*Cerastium glomeratum*) などとは異なり、里では見かけない。昨年5月下旬、植物園ボランティアスタッフから教えられ熱帯ドーム温室裏の芝地へ見に行くと、一面に生えていた。一見するとハコベ属のノミノフスマ (*Stellaria alsine* var. *undulata*) にも見えるが、ハコベ属のように花弁が2裂せず、細い茎には短毛が生えている。(田中良明)



登録範囲は、事務局、鳥屋野潟スポーツ公園事務所(園地・スタジアム)、養雲寺記念公園事務所、植物園です。



大豆インクで印刷しています。

Volume 44
2011 spring

新潟県立植物園

〒956-0845 新潟市秋葉区金津186番地
TEL.0250-24-6465 FAX.0250-24-6410
Eメール botanical@greenery-niigata.or.jp
ホームページ <http://botanical.greenery-niigata.or.jp/>
指定管理者 国際総合学園・都市緑花センターグループ



ようこそ「県立植物園」へ



新潟県立植物園は、平成10年12月に開園し、今年で13年目を迎えます。19.8ヘクタールの広大な敷地に、四季を彩る10万株を超える植物が植栽されており、ふるさと新潟の季節の花木が身近に楽しめます。また植物園では、日々植物の充実に努めており、開園当初約800種だった植物保有数が現在で約4,000種となりました。ぜひ植物園にお出でいただき、多様な植物の表情をゆっくりご観覧ください。

植物園の園地には新潟県の希少種、特徴のある植物を紹介する「にいがた自然園」、新潟県の気候に合った花木や宿根草などおよそ200種を植栽する「宿根草花壇」、150品種1,000株以上を植栽する「ボタン保存園」、オニバスやミズアオイなどの絶滅危惧種・湿生植物を植栽する「水辺の草花園」、500株を超える園芸品種や野生種を植栽した「ツバキ園」、そのほかに「ツツジ園」「ハーブ園」があります。園地への入園は無料となっておりますのでお気軽にお出かけ願います。

有料施設となる観賞温室のうち、第1室の熱帯植物ドームでは、550種4,000株の多様な植物が植栽されており、熱帯植物ならではの魅力をお楽しみいただけます。ドーム内では、無料貸出の携帯音楽端末機器(iPod)で植物解説をお聞きいただけます。第2室では、「食虫植物展」や「アザレア展」、「洋ラン展」など年9回の企画展示を開催します。第3室では、季節感のある植物による家庭園芸の提案や、花や緑に関係した活動団体の作品展や当園の調査研究の紹介などを行っています。

また、花と緑の情報センターでは、緑の図書コーナーや花と緑の相談コーナーも開設しておりますので、こちらもご利用ください。

植物園では、多くの県民の方から広くご利用していただけるよう、一層の充実に努めて参ります。

指定管理者 国際総合学園・都市緑花センターグループ
新潟県立植物園 園長 山森 和敏



ボタン園



企画展示「アザレア展」



ナイトツアー



ツツジ園

4月1日から一部料金が改定され、さらに利用しやすくなりました。

温室入館料

区分	新料金	備考	
個人	大人	600円	
	シルバー(65歳以上)	500円	生年月日を証明できる物の提示必要
	高校生・学生	300円	新設 学生証の提示必要
	小・中学生	100円	土日祝日は無料
団体(20名以上)	大人	480円	
	高校生・学生	300円	新設 学生証の提示必要
	小・中学生	100円	土日祝日は無料
定期券(6ヶ月有効)	1,200円		
回数券(5回分)	2,500円		

研修室使用料

時間	新料金	備考
午前(9時~12時)	半面	2,000円
	全面	4,000円
午後(13時~17時)	半面	3,000円
	全面	6,000円
全日	半面	5,000円
	全面	10,000円
1時間単位	半面	800円 新設
	全面	1,600円 新設

また、以下に該当する場合は入館料が無料になります。

- 小・中学校及び高校が教育活動で利用する場合の引率職員
- 県内小・中学校が教育活動で利用する場合の児童・生徒
- 県内保育所等が園の行事で利用する場合の引率職員

その他の主な取り組み

- オオオニバス試乗体験、ナイトツアーなど子供が楽しめるイベントを充実させます。
- 熱帯植物ドームや園地に新潟に縁の深いツツジやツバキ、ボタンなどを植栽します。
- 「春一番、にいがた花三昧。」や「にいつ花ふるフェスタ」等のイベント開催に参画し、県内花卉産業を盛り上げ、地域振興に寄与します。
- 新年は1月2日から温室を開館します。



親子教室



自生地保全



シャクナゲ・ツツジ展 ～バラの学名を持つ樹とバラの饗宴～

平成23年
4|13(水)～5|29(日)

ツツジ属の学名 *Rhododendron* は、バラ(色の花)の樹という意味であり、「花木の王」と称されます。それと並び称されるのが「花の女王」のバラ属 (*Rosa*) で、くしくも両属の学名には「バラ」の語が使われています。

今回の展示では、世界を代表する二大花木、シャクナゲ・ツツジとバラを取り上げ、春を美しく豪華に演出します。また、分類上の位置、花の構造、品種改良の歴史などを比較することで、シャクナゲとバラの類似点と相違点を明らかにします。

第2室1階では、イギリスを代表するボーダーガーデンの様式を取り入れ、背の低い植物から高い植物へと立体的な植物構成の中に西洋シャクナゲ、ツツジの園芸品種、バラを取り入れて展示しています。日本では珍しい庭園様式ですので、カーデニングの参考にもしていただけたらと思います。

企画展示

動物のいない動物園

平成23年
6|1(水)～7|3(日)

家族みんなで楽しめる、植物の名前にかくされた動物探し、動物のいない動物園を初開催! クイズに答えて、植物と動物について楽しく学ぶことができます。

そして、新緑の時をすぎた植物の成長は勢いを増し、美しい姿を存分に披露し多くの花が私達の目を楽しませてくれます。梅雨時期の代表の花、アジサイをはじめとする爽やかで多様な花々を多彩なディスプレイで登場させ、ガーデニングにも役立つ利用方法についても解説します。

見て楽しんで、知って得すること請合いです。

企画展示



ラベンダー



ギボウシ



ハクチョウソウ(ヤマモモソウ)



ヒツジグサ



カシワバアジサイ



サギソウ



ウサギゴケ



ハギ(*Aspedeza*)



ギボウシ(*Hosta* cv.)



ユリノキ(*Liriodendron tulipifera*)

園内
ウォッチング

温室●タビビトノキ

(*Ravenala madagascariensis*)

第1温室の3階(展望台)から温室内を見渡すと、ジョオウヤシ、ダイオウヤシなどに負けないくらい大きく生育し、扇状に葉を広げている木がタビビトノキです。その姿からオウギバショウの別名もあります。

当園にはタビビトノキが3本あり、幹を観察するといずれの木も地上2.5mくらいのところでぐびれています。これは、当園に移植された時に、少し弱って生育が衰えたあとではないかと思ひ、植栽当時の写真を見たところ、ちょうど葉鞘の最下部が2.5mくらいに位置していました。その木が十数年の間で5倍以上に生長し、温室のガラスに届きそうな勢いです。タビビトノキはふつうの樹木と異なり、剪定して樹木を低く抑えることはできないため、いずれ伐採して更新しなければなりません。現在、親株の脇から出た子株を切らずに2世を育てています。スムーズに世代交代が出来るように伐採方法を検討しています。(橋本 永)



温室のガラスに届きそうなくらい成長したタビビトノキ。



開園当時



細くぐびれた部分は平成10年に植栽された時に一時生育が衰えたあと。



タビビトノキの幹

園内
ウォッチング

園地●芽生えとつぼみ

花々が咲き競う春。足元や枝先に目を向けてみると…。

秋に根もとまで刈ったハギの株もとから、新しい芽が出ています。夏にはりっぱな葉を茂らせるギボウシも春はこんな姿。

ユリノキの芽からは、小さなハンテン(の形をした葉)が伸びてきました*1。コナラの新芽は銀色の毛をまとって光っています。もみ出したボタン*2やシャクヤクのかたく閉じたつぼみ。どれもエネルギーがいっぱいつまってみえます。

今年の春は、ぜひ植物のこんな姿にも注目してみてください。(林 寛子)

*1:ユリノキの別名は半纏のような葉の形からハンテンボクという

*2:ボタンのほころび始めるようすを「もみ出す」という



コナラ(*Quercus serrata*)



シャクヤク(*Paeonia* cv.)



ボタン(*Paeonia* cv.)



エゾヒョウタンボクの果実
スイカズラ科の落葉低木。
風穴など夏でも涼しい風
が通る場所に自生する。環
境省絶滅危惧Ⅱ類

ヒメカイウの果実
サトイモ科の多年草。ミズバショウに似た
花をつける。環境省の準絶滅危惧種

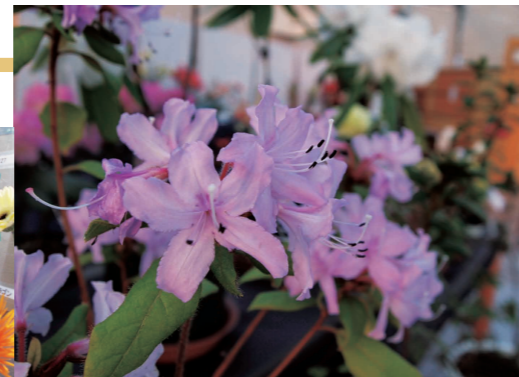
NEWS 1 絶滅危惧種の種子採取

昨年10月12日～14日の3日間、湯沢町、津南町方面へ絶滅危惧種の種子採取に行ってきました。環境省で進めている絶滅危惧植物の種子収集・保存推進業務へ協力したもので、(財)自然環境研究センターの市河さんも同行し、9種の絶滅危惧種の種子を採取したほか、時期的に種子が採取できなかった絶滅危惧種の自生地の確認を行いました。

環境省のレッドデータブックには、日本に自生する維管束植物の約1/4に絶滅のおそれがあるとされています。本来は自生地で保護するのがいちばん良い方法ですが、そこでの保護が困難な場合は、植物園や大学などで種子や植物体を保存し、絶滅のリスクを回避しています。

今回の調査は、日本の絶滅危惧種全体の長期保存を目的とした業務の一環で、これまで検討されてきた種子収集・保存の計画やマニュアルの作成、植物園協会、環境省、地元有識者の協力体制の確立が実践されたものです。

植物の自生地がわかっても、種子がいつ熟すのか、すでに地上部が無くなっているなど不明な点も多く、地元の専門家である佐藤政二さんに下見していただくなどして採取日を決めました。このたびの種子採取を経験し、植物種の存在だけでなく、その植物の生活史も知っておくことも、保全するうえで重要であることを感じました。(橋本 永)

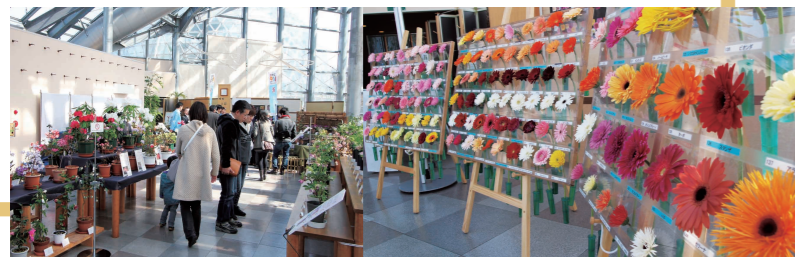


リヴラーレは中国湖南省産のツツジで日本初公開。
育種親としての利用が期待される。

NEWS 2 「春一番、にいがた花三昧。」

外はまだ彩りの少ない3月。新潟ふるさと村で行う「フラワーフェスティバル新潟」、うららこすどを会場とした「日本ボケ展」、当園の「花の新品種inにいがた」と「チューリップ展—新潟チウリップ物語」の4つ企画が連携した「春一番、にいがた花三昧。」が3月11日から13日まで行われました。4会場を廻るスタンプラリーには200人を越える方に参加いただき、すべての会場を廻った方も80名。多くの方々に一足早い春を感じていただけたようです。

新潟市食と花の世界フォーラムと県立植物園が共催した「花の新品種inにいがた」は、今年で2回目。県内外から150品種以上が出品されました。来場されたみなさんは、目新しい花をカメラに収めたり、今回の目玉である中国のツツジ「リヴラーレ」の香りを楽しんだりしていらっしゃいました。(林 寛子)



人々にぎわう「花の新品種inにいがた」会場。

静岡県浜松市からの出展。名産のガーベラ、150品種が勢ぞろい。

NEWS 3 平成23年度 「県立植物園ボランティア」 新規募集

植物の管理作業、展示の解説、資料整理などの業務のお手伝いをいただくボランティアスタッフを募集します。応募資格は特にありません。健康で、植物が好きな方であればどなたでも参加できます。活動への参加を希望される方は、説明会に参加し、登録していただく必要があります。下記のとおり説明会を行いますので、当園までお電話で申し込みの上、ご参加ください。

●TEL.0250-24-6465

説明会

日時●平成23年6月9日(木)、12日(日) 両日とも13:30から1時間程度
会場●花と緑の情報センター 2階 研修室

友の会通信

平成23年度がはじまりました。「新潟県立植物園 友の会」は平成16年3月に発足し、今年で8年目を迎えます。会員数は200名を超え大きな会へと成長してきました。昨年度は、会員で協力し、植物園まつりの出店、花絵づくり、花ふるフェスタ「ミニガーデンコンテスト」への出展、湯沢方面の植物観察会、阿賀町方面の植物観察会、植物園友の会写真展示などの活動を行いました。

今年度も活発に活動して行く予定ですので、友の会でやってみたいことがあったらご意見をお寄せください。

会員も随時募集しています。

新潟県立植物園 友の会会員募集

友の会会員を随時募集しています。興味のある方は

友の会事務局(新潟県立植物園 TEL.0250-24-6465)

までお問い合わせ下さい。

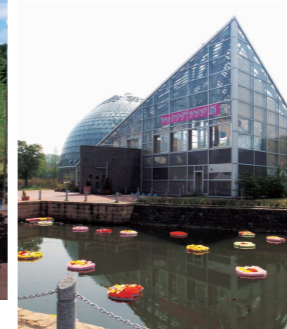
年会費(4月より翌年3月まで)

●個人会員 2,000円 ●ファミリー会員 2,500円 ●賛助会員(一口) 10,000円

会員特典:植物園観賞温室の入館無料、植物園だよりなどの送付



ミニガーデンコンテスト 昨年は「新津フラワーランド賞」を獲得しました。



花絵のボードを池に浮かべました。(植物園まつり)



来園者からチューリップを花絵のボードに挿してもらいました。



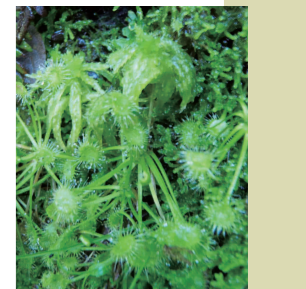
夏の植物観察会・大源太周辺の散策



夏の植物観察会・ヤマジノホトギス



秋の植物観察会・記念撮影



秋の植物観察会・モウセンゴケ



友の会写真展のようす

今年度の
活動予定

4月●総会(終了しました)

5月●植物園まつり

5月4、5日に行われる植物園まつりに出店し、会員の余剰苗等を販売

6月●花ふるフェスタ ミニガーデンコンテスト出品

有志で出品

6月・8月●植物観察会

1泊の観察会を1回、日帰り観察会を1回予定(行先は未定)

12月●クリスマス交流会

植物交換会、会員からの旅行記報告、やさしい即売会などを予定

1月●友の会 写真展示(第3室内)

観察会などで撮影した植物の写真や活動報告などを展示

※月1回最終日曜日には、打ち合わせ会、友の会活動の準備、植物園内や周辺の植物観察会を行う予定です。

友の会
ブログも
ご覧下さい

新潟県立植物園 友の会ブログを開設しています。

会の最新情報、会員のつづやき、発見などをどんどん更新していきます。ぜひ、ご覧下さい。情報はE-mail:bgn.tomonokai@gmail.comまで、携帯電話からも投稿できます。

ブログURL http://blogs.yahoo.co.jp/bgn_tomonokai

賛助会員 くわし達は「新潟県立植物園 友の会」の活動を応援しています

●齋藤不動産 ●株式会社アート環境設計 ●株式会社アート